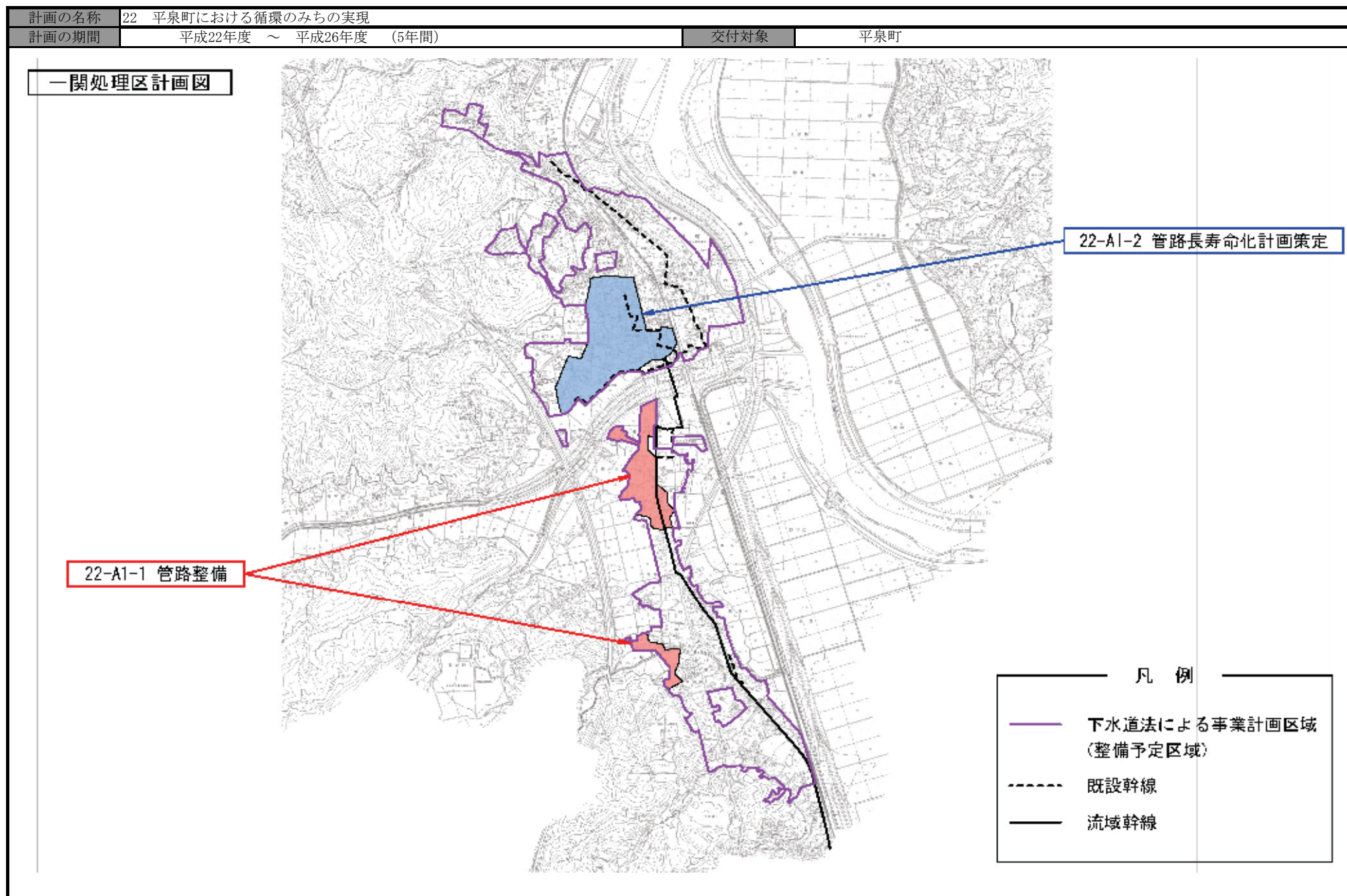


政策分野	水の安全・安心基盤整備									
計画の名称	22 平泉町における循環のみのちの整備									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）									
交付対象	平泉町									
計画の目標	・下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を34.1％(H22)から38.4％(H26)に増加させる。									
	・管路における長寿命化計画策定率を0％(H22)を18.9％(H26)に増加させる。									
	定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値							
			当初現況値	中間目標値			最終目標値	備考		
			(H22当初)	(H24末)			(H26末)			
	①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)		34.1%	37.0%			38.4%			
②管路における長寿命化計画策定率 管路における長寿命化計画策定済みの管路延長(km)/長寿命化計画策定すべき管路延長(km)		0.0%	0.0%			18.9%				
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C)		基幹事業 A	関連社会資本整備事業 B			効果促進事業 C	効果促進事業費の割合		
	302		302	0			0	0.0%		
交付対象事業の概要										
交付対象	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
			H22	H23	H24	H25	H26			
A 基幹事業										
平泉町	祇園地区第1, 2, 3処理分区(管路整備L=3km)	平泉町						282		
平泉町	平泉処理分区(長寿命化計画策定L=5km)	平泉町						20		
A 基幹事業 計								302		
B 関連社会資本整備事業										
B 関連社会資本整備事業 計								0		
C 効果促進事業										
C 効果促進事業 計								0		

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業タイプ)

計画の名称: 平泉における循環のみの現実

市町村名: 平泉町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等	
1) 都道府県構想(見直し予定を含む)に適合している。	○
2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。(流域関連公共下水道のみ)	○
3) 市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。	○
②目標値および内容の妥当性	
1) 計画人口は適正な数値となっている。(人口普及率等を目標とした場合)	○
2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 該当するものに○ ・施設の長寿命化対策 ・合流改善 ・浸水対策 ・処理場の増設 ・汚泥処理施設 ・地震対策	○
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
2) 河川等の水質改善に効果がある。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1) 町独自の中期計画に基づいた計画になっている。	○
2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。	○
3) 継続的な汚水処理の展開が見込まれる。	○
4) 地域の実状に応じた計画になっている。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
3) 下水道法の事業認可を取得している。	○